

# なんかい、103号

2016年 8月1日発行

南海寮 広報委員会  
熊本県天草市本町下河内1685番地の1  
TEL 0969-23-3850  
FAX 0969-22-4977  
Mail keiyukai@cup.ocn.ne.jp  
URL http://www.nankairyu.or.jp/

## 暑い夏はやっぱりビアガーデン！



### 委員長会議

### 委員会活動の連携と機能強化

委員会活動は、施設を運営していく上で非常に重要な位置を占めており、施設を利用して頂いている利用者の方の安全・安心を保証し、充実した生活を送って頂けるように、全職員で取り組みを整えていかなければなりません。

今期の重点目標のひとつに、「委員会活動の連携と機能強化」を掲げており、各リーダーは自分の委員会の立ち位置を認識し、他の委員会と連携し運営にどう関わり貢献できるかをその都度再確認しながら、活動を進めていく事が重要です。

今回の会議では、今年度開始後の活動状況を報告し、出てきた課題の解決に向けての協議を行い、

今後の活動に反映させて、組織の強化を図ることを目的とし、11の委員会と各部署・部門の責任者や担当者が一堂に会し、話し合いを行いました。

例えば健康リハビリ委員会では現在外部から理学療法士を招いて個別及びグループでリハビリを受け、その都度アドバイスを頂いています。リハビリの状況やアドバイスが職員間で共有出来ないことが課題として出され、どうすればリハビリ時の情報が共有出来るかを検討しました。検討した結果、①月々のリハビリ予定表を貼り出し、それぞれ当日の担当職員も記入しておく。②担当になった職員は、前回のリハビリ時の情報を収集して参加し報告まで責任を持って行う(理学療法士との連携)

③リハビリ時他職員にも良く分かるように写真や動画を撮って正確に伝える。④結果の発表は朝礼時だけでなく、明示したり、口頭でも伝えていく。⑤その次の担当者にも必ず伝えていくようにする。という改善案が出されました。

また、ショートステイ担当からは、利用予定が急遽変更になった時の、申し送り忘れがあるとの話があり、休日勤務の職員に確実に

に伝わっていない現状から、申送りの重要性を認識し、忘れ物等がないようにチェック表の活用を徹底すること等が出されました。

色々出された課題から、各職員意識の持ち方に差がある為、意識を高く持つこと、「報・連・相」をしつかり機能させること、創意工夫・気付き力をもっとレベルアップすることが必要と感じました。

今回の会議で全体を把握し、各委員会連携・協力し合い、それぞれの活動がスムーズに運んでいくことで、利用者の方の安全が担保でき、安心して生活できる施設が築けるのではないかと思います。

今後、利用者の方やご家族に喜んで利用して頂けるような施設になることを目標に、業務遂行力をアップさせ、今後に繋がっていくような前向きな姿勢で、全職員取り組んでいきたいと思えます。



倉田美晴



6月  
16日

## ボウリング大会

### 実施担当者として配慮すべきこと

今回のボウリング大会を企画するにあたり、皆さんに楽しんで頂けるようにするにはどのような配慮が必要となるかを考慮しつつ実施する事に努めました。例えば、車椅子の方にはシューター（滑り台のような物）の使用、目が見えづらい方には残ピンや投球位置等の声掛け、身体的障がいや有する方や投球が難しい方にはガーターレスレーン（溝なし）の設置等、支援者が傍に付き添い援助を行いました。実施担当者として様々な配慮をしながらの計画は難しかったですが、参加された方の満面の笑顔が見れた瞬間、皆で協力しひとつの事を作り上げる事の嬉しさを感じる事ができました。

(山本貴寛)



6月  
28日

## 災害の日～風水害想定訓練

### 災害を教訓として活かす

昭和54年6月、大雨により建物付近の斜面に崖崩れが発生、地元の東向寺で避難生活を行いました。その後南海寮では6月28日を「災害の日」とし、毎年風水害を想定した訓練を行っています。日頃の避難訓練の成果もあり、スムーズに職員の指示に従い避難する事ができていました。先般の熊本地震で多大な被害が出て、未だに避難生活を余儀なくされている方も沢山おられます。幸い当施設に直接的な被害はありませんでしたが、自然災害はいつでもどこで起こるか分かりません。今回の熊本地震を教訓として活かし、一層防災意識を持ち、今後の訓練にも取り組みたいと思います。

(櫻井裕己)



7月  
7日

## 七夕会

### 金銀砂子のねがい

七夕の日、利用者の方それぞれ短冊に願い事を書いてもらい、笹の葉に吊りました。飾り付けられた笹の葉を見ると、十人十色それぞれの願い事が書いてあり、例えば「旅行に行きたい」「元気に過ごしたい」「リハビリ、歩行を頑張りたい」などいろいろな願い事がありました。短冊に込められたそれぞれの願いは、七夕の夜空に願ったものではあっても、その願いの向かう先は私たち支援者であり（驕りではなく）その願いをできる限り叶える事が私たちの務めである事を改めて感じました。七夕会では歌を歌い、笹の葉の下や天の川をイメージした壁面の前で記念撮影しました。

(小川明奈)



7月  
14日

## 日帰り旅行

### 梅雨明け！絶好の旅行日和

今年も待ちに待った日帰り旅行のシーズンがやってきました。最初の楽しみはT A I Y Oでの買い物。欲しかった洋服や大好きなお菓子・ジュースを購入し、満足顔の皆さん。買い物後はアレグリアガーデンズ天草へ移動、笑顔の素敵な従業員さんに出迎えられ、嬉しそうに笑顔で挨拶。ホテル自慢の海の見える浴場を貸し切ったの入浴で至福の一時を過ごされました。入浴後は日帰り旅行で最も楽しみされている昼食。天草の新鮮な魚や地元の特産品を使った豪華な料理に舌鼓！帰りは有明海を眺めながら天草西海岸線をドライブと、終始、笑顔の絶えない日帰り旅行でした。

(浦本玲子)



## 開所記念日・食事会（5月）



## 東向寺保育園園児交流訪問（5月）



## 天草花しょうぶまつり (5・6月)



## 衣類販売 (6月)



## ボウリング大会（6月）



## ドライブ・旅行（7月）



## 修 告 研 報

### 初任者キャリアアップ研修 プロとして、将来あるべき姿を目標に

支援員 松 下 ひかる

今回の研修は、事前学習としてテキストを熟読し、予習はもちろん、職場人としての今の自分、将来の自分像などをプロフィールシートに記入して参加しました。研修ではグループワークが行われ、福祉現場でのチームワークが大切である事を話されました。

参加者は生活支援員の他に保育士、調理員、職業指導員、児童指導員等、様々な職種の方がおられ、幅広い分野での話を聞く事ができました。また、2日間の研修の中で①利用者様とコミュニケーションを取り声なき声に耳を傾ける事、②「報告・連絡・相談」

## 修 告 研 報

### 福祉職員ビジネスマナー研修 ビジネスマナースキルを活かすために必要な事

事務員 松 本 安 純

主に来客対応、電話対応についてグループワークと演習を行いました。今回の講義で言葉の正しい使い方と、電話対応についての要点を改めて学習した事で、自身の対応の仕方についてしっかりと振り返ることができ、ハキハキとゆつくり話す等のポイントを意

識する事で、以前よりも落ち着いて電話対応ができるようになりました。また来客対応・応接マナーについてはロールプレイを行い、問題点を互いに指摘し合うことで客観的な視点で見ることができ、相手の立場に立って行動する事の大切さを学びました。

の重要性、③組織の一員としての自覚、④資格取得等の自己啓発の大切さを話されました。研修会の最後にはグループ全員で行動指針マップを作成し発表を行い、5年後10年後のあるべき姿を考えました。今回の研修会で学んできた4つの事を忘れずに支援してい

き、5年後、10年後のあるべき姿に向け自己啓発し福祉現場のプロとなれるよう頑張っていきたいと思えます。

しかし実際の業務では、電話対応一つとっても、先方やお客様が何の事を言っているのか、誰に取り次いでいいのか、受け取った情報を正しく伝えられるか等難しく感じる事が多くあります。職場の中で日々変化し発信される多くの情報を自ら収集・把握し、様々な場面でも落ち着いて的確に行うことができるよう努めていかなければならないと再認識する事ができました。

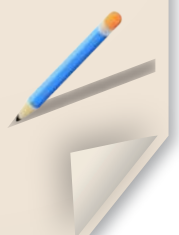
### 施設内研修テーマ オムツ内環境と、適切な使用方法 メカニズムについて

介護用品メーカー（白十字株式会社・株式会社タカ）の協力で課題テーマについて、外部研修と施設内研修の2本立てを実施。

施設では当たり前のように日常紙オムツ、パットを使用し、その際のオムツ内の環境や正しい方法について自分なりに理解していたつもりでしたが、今回のセミナーを受け、改めてオムツ使用について振り返る機会となりました。

オムツを使用するということは、介護する側、介護される側にとって心地よいものでなければなりません。誤った着用方法をしてしまうと漏れや着用時の違和感、不快・不便さを感じてしまう原因となります。

介護する側は、利用者さんの立場に立って、オムツを使用する事によって得られる快適さを最大限に生かせるような方法を常に考えなければなりません。まず適正なサイズを選び、尿量に適切なパットを選び、尿量に適切なパットを選び、尿量を測定し、尿量の多い時間少ない時間を把握しそれに適切なパット



を選ぶといったアセスメントが必要です。それによってコスト削減と利用者さんの負担を軽くする事に繋がります。無駄をなくす事ができます。また排泄があった際、オムツ内の環境はどのような状態になっているのか、オムツがぶれ、褥瘡を防ぐにはどうすればよいのか等の情報や対応を学ぶ事ができました。

介護現場の支援方法は日々新しくなり、技術は学び続けなければなりません。介護用品も同時に日々進化しており自分から情報のアンテナを張り巡らし、適切な介護用品の選択と正しい使用方法を学びアプローチしていかねばならないと感じました。

石原美恵





# がんばったで賞

毎月「なにかひとつ頑張った」ことを表彰している「がんばったで賞」  
今回は平成28年5月から平成28年7月に受賞された皆さんです。

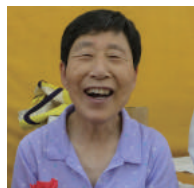
## 5月 (May)



小篠 公明 さん  
食事を残さず食べました



久木田 幹夫 さん  
食事を自分で食べられています



平井 洋子 さん  
手伝いをがんばりました



前田 雄喜 さん  
皆さんのムードを盛り上げました



吉川 光伸 さん  
歩行をがんばりました

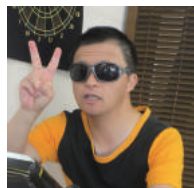
## 6月 (Jun)



稲崎 和則 さん  
健康に元気に過ごしています



上原 誠 さん  
リハビリをがんばりました



江崎 淳一 さん  
プログラムバイクで運動をがんばりました



寺岡 徳雄 さん  
作業をがんばりました



宮崎 みさえ さん  
リハビリをがんばりました

## 7月 (Jul)



金子 亜樹 さん  
作業をがんばりました



佐々木 優 さん  
リハビリをがんばりました



田崎 沙弥香 さん  
公園散策に楽しく参加しました



野崎 喜子 さん  
洗濯をがんばりました



宮崎 正土 さん  
歩行をがんばりました

### 新任職員紹介 よろしくおねがいします！



支援員  
和田 卓巳  
H. 28年5月～



調理員  
松浦 和希  
H. 28年7月～



### グループホームたんぽぽ

老朽や消防法改正等に伴い、旧住居「一ノ瀬」を建替え・移設。(天草市本町下河内870-3 → 天草市本町新休382-2)「グループホームたんぽぽ」と名称新たにスタートしました。入居

定員も4名から7名に増員。7月より新たな入居者も加わりました。

現在、もうひとつの住居「みなみ」も建替え中で年末頃の完成予定です。

南海寮グループホーム事業所(指定共同生活援助・介護サービス包括型)  
利用定員9名から12名に増。

# 通所センターだより



夏がやってきました！夏と言えばそうめん流し！過去の広報紙8月発行分で毎年紹介させて頂いている恒例のイベントですが、今年も7月22日に行いました。

今回は今までで一番参加者が多く、使用する竹は途中2か所で継いで少しづつ段差を設けた全長約13m。毎年竹の切り出しと加工が一番大変で、今年も1週間前に孟宗竹1本を切りだしトラックで運搬しました。あまりの重労働に今年は新人職員が途中ふらふらになっていました。(汗)

そうめん流しを経験した事がある方はお分かりと思いますが、そうめんが掴みにくい要素として、流れが速い事と、箸の利き手と同じ方から

そうめんが流れてくる事があげられます。流れは竹の角度と水量で調節できる為、掴みやすい方に場所を移動すればいいのですが、つかみにくいからと移動する方は誰もおらず、掴みにくくても箸を立ててそうめんを一旦止めて掴んだり、箸を傾けそれにつられるように顔も一緒に傾けながら取ろうとしたりと、そうめん流しはこの掴めそうで掴めない感じが楽しいのだろうな～って毎回思います。来年も期待にお応えして適度に掴みにくい流れを作り出すため、恒例イベントにも新鮮さを感じて頂けるようアイデアを出し合いながら計画したいと思います。良い案があればご一報ください。 大仁田美穂

## 職員研修会等参加報告

- 中堅職員キャリアアップ研修 (6月6・7日) 高瀬
- リーダーキャリアアップ研修 (6月28・29日) 松浦徳
- ストレスケア研修 (7月5・6日) 倉田
- 九州地区知的障害施設職員研修沖縄大会 (7月7・8日) 松浦光・金子恵
- 主任・係長講座 (7月11・12日) 倉田
- 全国グループホーム研修 (7月21・22日) 松下・鶴戸
- 強度行動障害支援者養成研修 (7月23・24日) 金子史 他

## 今後の予定

- 8月2～3日 本渡中学校ワークキャンプ
- 8月4日 夕涼み会
- 8月6日 天草ハイヤ道中総踊り
- 8月18～31日 尚綱短期大実習
- 8月24～25日 島内一泊旅行
- 11月13日 愛藍ピック (天草地区施設スポーツ大会)

## 編集後記

いよいよブラジル・リオデジャネイロでオリンピックが始まります。世界のトップアスリートを始め、日本選手の活躍が大いに楽しみです。それぞれの選手がこの日の為に血のにじむような努力をしてきました。試合後、インタビューのマイクを向けられると、喜びや悔しさといった自分の思いを表しながら、周りで支えてくれた家族やスタッフに対する感謝の言葉も忘れません。周りの支えがあってその人が輝ける。「支援」の現場でも、利用者さんがより楽しく・生き生きと毎日の生活の中で活躍できるように支えていくことが大切です。利用者さんの笑顔の金メダルにつながる支援を目指します。 kazumi

## 平成27年度 資金収支計算書 (単価：千円)

勘定科目		予算	決算	差異
經常活動による収支	収入			
	障害福祉サービス等事業収入	370,730	368,579	2,151
	經常経費寄付金収入	345,000	345,000	0
	受取利息配当金収入	142	136	6
	その他の収入	3,794	3,719	75
	事業活動収入計	375,011	372,780	2,231
支出	人件費支出	226,097	217,323	8,774
	事業費支出	56,314	50,913	5,401
	事務費支出	23,972	21,051	2,921
	その他の支出	950	945	5
事業活動支出計	307,333	290,233	17,100	
事業活動資金収支差額		67,678	82,546	-14,868
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等寄付金収入	375	0	375
	施設整備等収入計	375	0	375
	支出			
固定資産取得支出	1,870	1,843	27	
施設整備等支出計	1,870	1,843	27	
施設整備等資金収支差額		-1,495	-1,843	348
その他の活動	収入			
	その他の活動による収入計	0	24	-24
	支出			
	積立預金積立支出	53,000	53,000	0
その他の活動による支出	10	9	1	
その他の活動支出計	53,010	53,009	1	
その他の活動資金収支差額		-53,010	-52,985	1
当期資金収支差額合計		13,173	27,718	-14,545
前期末支払資金残高		250,347	250,347	0
当期末支払資金残高		263,520	278,065	-14,545

退所報告 / 坂本信人様 (天草市) H. 28. 7. 26付